


アストラサナグループ 会社案内





The future of medicine is plant-based

医療の未来は植物由来にある

GROWTH POTENTIAL OF CANNABIS PHARMACEUTICALS - 医療大麻の可能性

近年、大麻に対する関心が急速に高まっており、植物が持つ有効成分が研究により認められ、多岐にわたる医療用途として活用されるなど、多くの医師や専門家等から注目されています。

その結果、スイス議会は麻薬法を改正し、医療用大麻を2022年8月1日から合法化しました。これにより、スイスは医療分野でさまざまな可能性を開拓

する世界的なトレンドに追随しています。

新しい革新的な製品や、治療法を創造する新たな機会は、さまざまな疾病や不調の緩和に役立つ可能性があり、医療用大麻への需要は強く、着実に増加しています。

アストラサナは、この潜在的な市場を開拓することを目標としています。

INDEX

1.0 アストラサナについて

1.1 マーケットリーダーとして - p. 9

2.0 私たちの取り組み

2.1 有機活性成分の代替である大麻 - p. 13

2.2 医学分野での様々な応用 - p. 14

2.3 クオリティオブライフ(QOL)の
向上とその証言 - p. 17

2.4 食物由来の活性成分 - p. 18

2.5 スイス薬局での処方 - p. 20

3.0 会社概要

3.1 グローバルな組織体制 - p. 24

3.2 経営陣 - p. 26

3.3 パートナー企業 - p. 28

4.0 企業活動

4.1 スイス:栽培と製造 - p. 32

4.2 チェコ共和国:欧州市場の
ディストリビューションと開発 - p. 34

4.3 日本:アジア最大のCBD市場への輸出入と
新たなニーズ形成 - p. 36

4.4 動物医療分野における先駆者の優位性 - p. 40

4.5 戦略的事業計画と加速成長の原戦略的事業計画と
加速成長の原動力 - p. 42

4.6 リサーチ研究の最前線 - p. 44

4.7 サクセスストーリーとマイルストーン - p. 46

5.0 大麻市場と展望

5.1 大麻市場の成長と見通し - p. 50

5.2 アストラサナの実績 - p. 52

5.3 将来の展望 - p. 54

Our goal
is to tap into
the potential
of plant-based
medicines

自然の植物が持つ有効成分と
その潜在力を活用する





1.1

ASTRASANA IN POLE POSITION


マーケットリーダーとしてのアストラサナ

スイスでは、医療用大麻に関する法改正により新たな市場機会が生まれました。アストラサナは、この法改正を活用する最初の企業の1つであり、医療用大麻のネットワークと専門知識を拡大しました。

上場企業であるクレバーリーブス・ホールディング株式会社とのパートナーシップにより、高品質の大麻原料を輸入し始めました。これに続いて、キュラリーフ・インターナショナル株式会社やカントラージュ株式会社などの他の上場企業とのパートナーシップを締結しました。全ての大麻製品はスイスの基準に従って製造され、薬局やクリニックで処方されてます。

これら戦略的パートナーシップは、チェコ・プラハ経済大学（VSE）、スイス・セント・ガレン大学（HSG）、国際大学ネットワークCEMSとの共同研究プロジェクトにより、改善、進化、そして強化されています。同プロジェクトは、医療用大麻の効果的な費用と潜在的な可能性を従来の医療市場と比較することに焦点を当てています。

アストラサナ・ホールディングは、確立された国際的なスイスの大麻企業に発展し、業界内のすべての市場セグメントを対象とする企業のグローバルネットワークを包括しています。本社はスイスにあり、ヨーロッパと日本にも現地法人を置き現地で活動をしています。アストラサナは約30人の従業員を雇用し、さまざまな製品を世界18か国以上に届けています。

The background of the slide is a close-up photograph of water with numerous bubbles of various sizes. A thin, vertical white line runs down the center of the image, slightly to the left of the text. The text is positioned on the right side of the slide, overlaid on the water and bubbles.

As a first mover,
we have created
an excellent
starting position

先駆者としてのスタート地点を構築

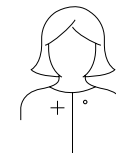
Organic active ingredients as an alternative

有機活性成分としての大麻



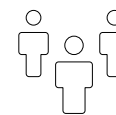
フォーカス

アストラサナ・ホールディングは、医療用大麻ベースの有効成分の輸入、製造、および取引に焦点を当てています。また同時に、医療用大麻製品の市場導入および薬品としての処方にも特化しています。



ネットワーク

医療大麻のディストリビューション・ネットワークには、オンラインおよびオフラインの専門薬局、クリニック、医療機関が含まれています。また、私たちは広範な医師と製薬専門家のネットワークも有しています。



チーム

現在、私たちは、がん治療、緩和ケア、リウマチ学の領域におけるクリニックと医師に焦点を当てて活動しています。私たちは医師に対して、医療分野での大麻の幅広い可能性を説明し、啓蒙活動を行うことで、私たちのパートナー薬局で処方箋を通じて多くの患者に大麻由来の製剤が届けられることを目指しています。

WIDE APPLICATION POSSIBILITIES IN MEDICINE

医学分野での応用と活用

スイス連邦保健局は、近年、医療用大麻に対する関心が急速に高まっていることを受け、法整備に取り組んでいます。大麻草が、幅広い応用力と可能性を秘めていることが常識になりつつあるのです。

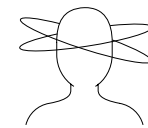


医療用大麻は、医療現場で様々な疾患に使用されています。例えば、慢性疼痛症状、神経障害性疼痛やがんによる疼痛などが挙げられます。また、多発性硬化症や他の神経学的疾患による痙攣やけいれん、化学療法における悪心や食欲不振にも使用されます。

大麻の治療効果は、大麻の植物に含まれるカンナビノイドに基づいています。これらは、人間の体内にある内因性カンナビノイドシステムと相互作用し、さまざまな生理機能を調節するのに重要な役割を果たしています。

内因性カンナビノイドシステムは、痛み、気分、食欲、睡眠、炎症などのさまざまな生理機能を調節する複雑な細胞シグナル伝達システムです。また、内因性カンナビノイドは、システムの調整および規制役として機能し、体内のホメオスタシス、つまり内部のバランスを維持するのに役立ちます。

化学物質の中で、テトラヒドロカンナビノール（THC）とカンナビジオール（CBD）の化合物の区別がされますが、THCおよびCBDには各々異なる適応疾患への対応として活用されています。



THC - 様々な疾患に対する応用と活用

- 発作が重度で薬剤耐性のある子供や大人の場合を含むてんかん
- 特に神経障害性疼痛の慢性疼痛
- 多発性硬化症などの疾患における痙攣
- 不安や睡眠障害
- 抗がん剤の副作用を軽減したり食欲を改善するためのがん治療の支援的治療
- リウマチ性関節炎や炎症性腸疾患などの炎症性疾患の治療における可能性のある正の効果



CBD - 様々な疾患に対する応用と活用

- 小児および成人の重度で薬剤耐性のてんかん、特に発作に関する形態
- 特に神経障害性疼痛の慢性疼痛
- 不安および睡眠障害
- 化学療法の副作用を軽減するための支援的治療、またはがん患者の食欲改善のための治療



Dr. med. Giuseppe Plebani
Chief Medical Officer & Member of the Board

IMPROVEMENT IN QUALITY OF LIFE AS PROOF OF SUCCESS

クオリティオブライフ(QOL)の向上とその証言

患者からの報告

患者の生活の質の大幅な改善が医療用大麻の効果を示す最良の証拠です。チーフメディカルオフィサーのジュゼッペ・プレバーニ博士は、その経験から2つの具体的な事例を報告し、大麻治療の肯定的な効果を説明しています。

PROSTATE CARCINOMA 前立腺癌

2013年に前立腺癌、翌14年には甲状腺癌と診断された76歳の男性患者がいます。患者は重度の関節痛を訴え、動く能力が著しく制限されました。

また、この男性患者に対する大麻治療は、2023年秋に開始されました（CBDオイル10%およびTHCオイル5% - これはCBD 18 mgおよびTHC 4.5 mgの1日の投与量に相当します）。わずか数週間で患者の痛みの症状は既に著しく減少し、患者の動きの範囲も制限されなくなりました。大麻治療により痛みが和らいだ結果、生活の質を向上させるという目標は達成されました。

男性患者は、「**大麻治療により、生活の質が向上し、日常生活の楽しみが大幅に増えました。**」と述べています。

PARKINSON'S DISEASE パーキンソン病

2015年に65歳の女性患者がパーキンソン病と診断されました。当初、手のわずかな震えがある程度でしたが、筋肉の硬直が増し、持病の膝の骨関節炎が患者の移動能力を著しく制限しました。さらに、バランス感覚への影響もあり時折転倒を引き起こしました。加えて睡眠の問題や表情筋、そして声の損傷は、生活の質のさらなる悪化とうつ病の症状をもたらしました。

2023年の夏、レボドパ、COMT阻害剤、アマンタジンなどの標準的な薬理学的治療に加えて、大麻治療が開始されました（CBDオイル10%およびTHCオイル5%、1日の摂取量はCBD 30 mgおよびTHC 12 mg）。数週間後、患者は、筋肉硬直と身体の震えの減少を感じたほか、より安定した歩行が出来るようになりました。また、将来に対する自信が高まり、より良い睡眠が得られるようになりました。

女性患者は、「**この追加の治療により、すべてがより耐えられるようになり、調子がとてもよくなったと感じています。**」と述べています。

HERBAL ACTIVE INGREDIENTS

食物由来の活性成分

アストラサナの製品ポートフォリオに含まれるすべての医薬品は、Swissmedicのガイドラインに準拠しており、独立した機関によって分析および検証されています。

*日本向け製品については「カンナビノイド原料カタログ」をご参照ください。



DRONABINOL [DAC, D-100]

製品タイプ：液体抽出物
品質：EU-GMPファーマ
容器（kg）：1
有効成分：THC
価格：要問い合わせ
*日本非販売



CANNABIDIOL [DAC, C-052]

製品タイプ：結晶粉末
品質：EU-GMPファーマ
容器（kg）：1
有効成分：CBD
価格：要問い合わせ
*日本非販売



CANNABIS FLOS [DAB, PH. HELV.]

製品タイプ：大麻花穂
品質：EU-GMPファーマ
容器（kg）：1
有効成分：CBD / THC
価格：要問い合わせ
*日本非販売



LION'S MANE, REISHI, TURKEY TAIL

製品タイプ：マイクロバイームカプセル
品質：EU-GMPファーマ
容器（kg）：1
価格：要問い合わせ
*日本非販売

ASTRASANA PRODUCTS IN SWISS PHARMACIES

スイス薬局で処方される大麻製品


アストラサナは、スイス国内で医療用大麻の処方を円滑に行うためのネットワーク構築を行っています。

スイス東部および南部の提携薬局との独占契約を通じて、医療用大麻を直接患者に処方し、患者とのコンサルティングを通じて、ニーズの把握と理解を深めています。

また、処方箋はスイス全国の提携薬局に転送されるシステムとなっており、各地で処方することが可能です。

私たちは、提携薬局のネットワークを拡大すると同時に、医療用大麻を処方する医師のネットワークの構築にも取り組んでいます。アストラサナ・グループのプレバーニ博士は、ネットワークの拡大に向けた活動の一環として、医療用大麻の処方に関するアドバイスやサポートを行っています。



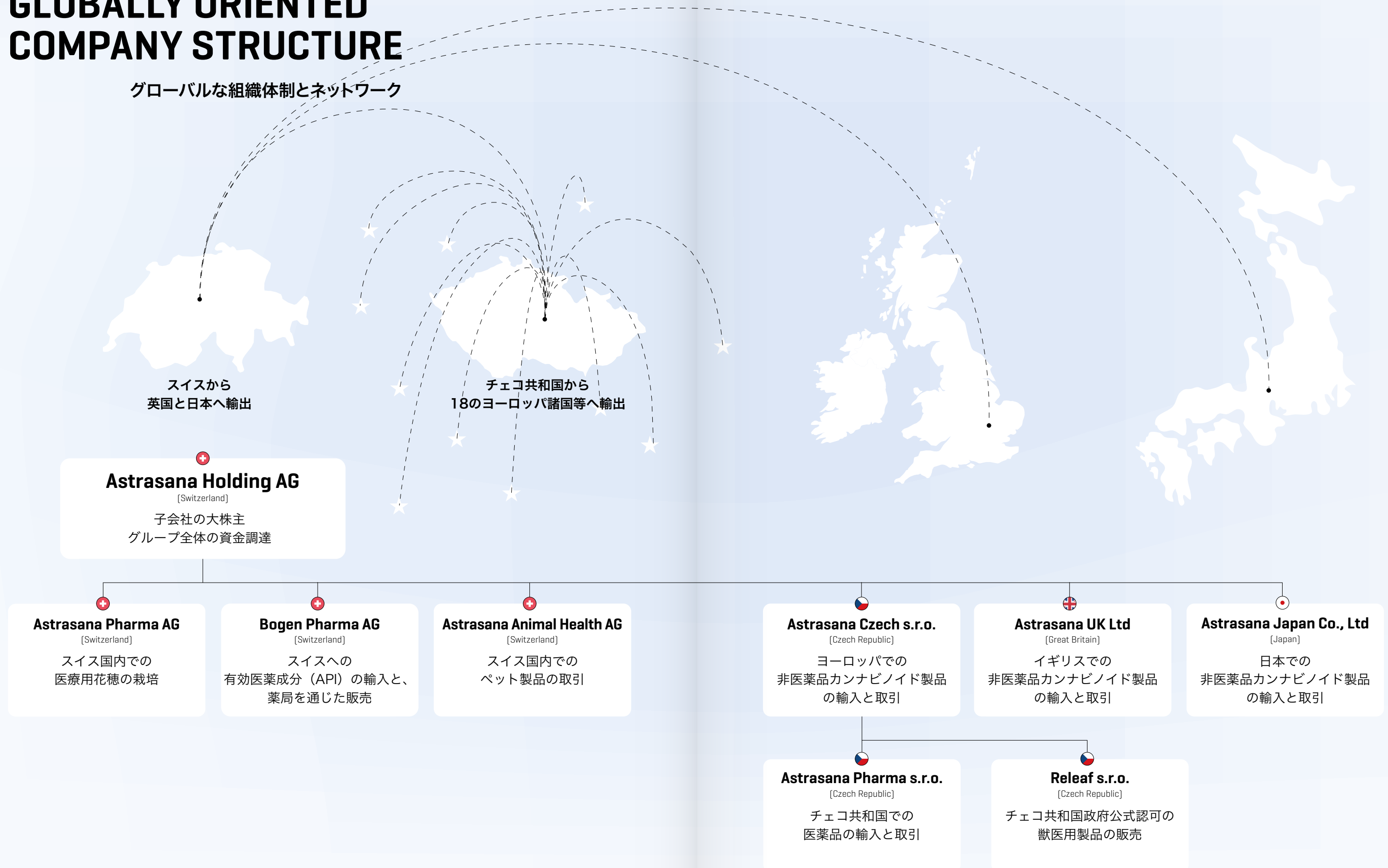


International networks with the right skills in the right place

専門知識と高度なスキルを活用した
グローバルネットワーク

GLOBALLY ORIENTED COMPANY STRUCTURE

グローバルな組織体制とネットワーク



BROAD COMPETENCIES IN MANAGEMENT

専門性を活かした経営陣



イヴ・アントニアッツィ

創業者 - アストラサナ・ホールディング株式会社代表取締役

2017年以来、ヨーロッパで有数の大麻企業に勤務し、サプライチェーン及び物流、調達、事業開発等を担当してきました。アストラサナ・グループの共同創業者であり、主に企業ネットワークの拡大と新しい戦略的提携および国際プロジェクトの開発に焦点を当てています。

ジュゼッペ・プレバーニ博士

役員 / 医師 - チーフメディカルオフィサー

これまでアストラゼネカや武田製薬など世界有数の製薬会社において、新規医薬品の立ち上げ等を行ってきました。Vectura Fertin Pharmaのグローバルメディカルアフェアーズの責任者として、さまざまな大麻ベースの医薬品の開発を監督するなど、医療用大麻業界を主導する存在です。



吉田 智賀子

アストラサナ・ジャパン代表
共同創設者

国際政府機関に15年間勤めた後、大麻企業の日本ビジネスを4年間担当していました。アストラサナ・グループの共同創設者のひとりで、グループの取締役と日本法人の代表取締役を務め、日本市場の販売ネットワークの拡大を担当しています。

トーマス・リスカ博士

アストラサナ・チェコ代表
共同創設者

ブラハ経済大学の教授として、約20年間大麻研究に関与してきました。アストラサナ・グループの共同創設者のひとりで、グループの取締役とチェコ法人の代表取締役を務め、ブラハ経済大学CEMSとの協力による医療大麻の利用に関する研究を指導しています。



ベルンハルト・ゾルク医師

役員/医師（スポーツ医師）

実務経験40年以上のスポーツクラブ選任医師です。法改正前から大麻ベースの医薬品を用いて多くの患者を治療してきました。ゾルク医師は、専門的な知識と、スイス医療業界での広範なネットワークでアストラサナ・グループの活動をサポートしています。

イヴァン・ミハロヴィッチ

役員/ 薬剤師 - ローゼンガルテン・アポテークAG代表

2011年以来、薬局ローゼンガルテン・アポテークAGの代表を務めています。大麻および医薬品の専門家として革新的な製品の研究開発に専念し、医療用大麻の処方に関連する政府との密接な連絡を維持しています。専門的および技術的な知識を持ってアストラサナの活動をサポートしています。



サム・マラック

ビジネス開発マネージャー（欧州・英国）
共同創設者

2017年以降、大麻業界のビジネス開発専門家として、英国の大麻企業を5人から60人にまで成長させました。アストラサナ・グループの共同創設者のひとりで、グループの取締役とビジネス開発マネージャーとしてヨーロッパでの販路拡大を担当しています。

ミロ斯拉ヴ・スミダ

アストラサナ・チェコ・ファーマ代表

ピルルカ薬局チェーンの共同創業者で、チェコ共和国で医薬品の販売を行っています。さまざまな医薬品および産業企業でのセールスマネージャーとして、新規市場開拓を担当してきました。チェコの薬局やクリニックでの医療大麻製品の処方を担当しています。



サンドラ・ブルックナー博士

アストラサナ・アニマルヘルス代表

2018年以来、CBD療法を専門とする獣医師で、過去5年間、スイスの獣医薬品会社大手Biokema株式会社でプロジェクトマネージャーを務め、スイスおよびヨーロッパでのペット向けCBD製品の流通を管理していました。現在、スイスのアストラサナ・アニマルヘルス株式会社の代表として、欧州で獣医承認された製品ASTRAVETおよびCANSUNAの流通を担当しています。

サビーネ・ホッケンヨス

責任薬剤師

チューリッヒ工科大学（ETH Zurich）での薬学の学位を有する薬剤師で、バイタリティコーチとしても活躍し、アストラサナでは、医薬品の取引を担当しています。長年にわたる薬剤師としての経験により、従来の医学と代替医学の両方について深い知識を持っています。



ラディスラフ・ティル

アドバイザリーボードメンバー

ブラハ経済大学の副学部長で、CEMSネットワークのアカデミックディレクター、およびスイス・セントガレン大学（HSG）の講師を務めています。アストラサナ・グループでは共同研究プロジェクトの監修を担当しています。



OUR SUPPLIERS, PARTNERS AND CUSTOMERS

グローバルなパートナー企業

サプライヤー



クリニック



カスタマー



薬局





Becoming an agile group of companies thanks to an effective growth strategy

効果的な成長戦略で機動的な企業へ

EVEN MORE SWISS MADE IN THE FUTURE

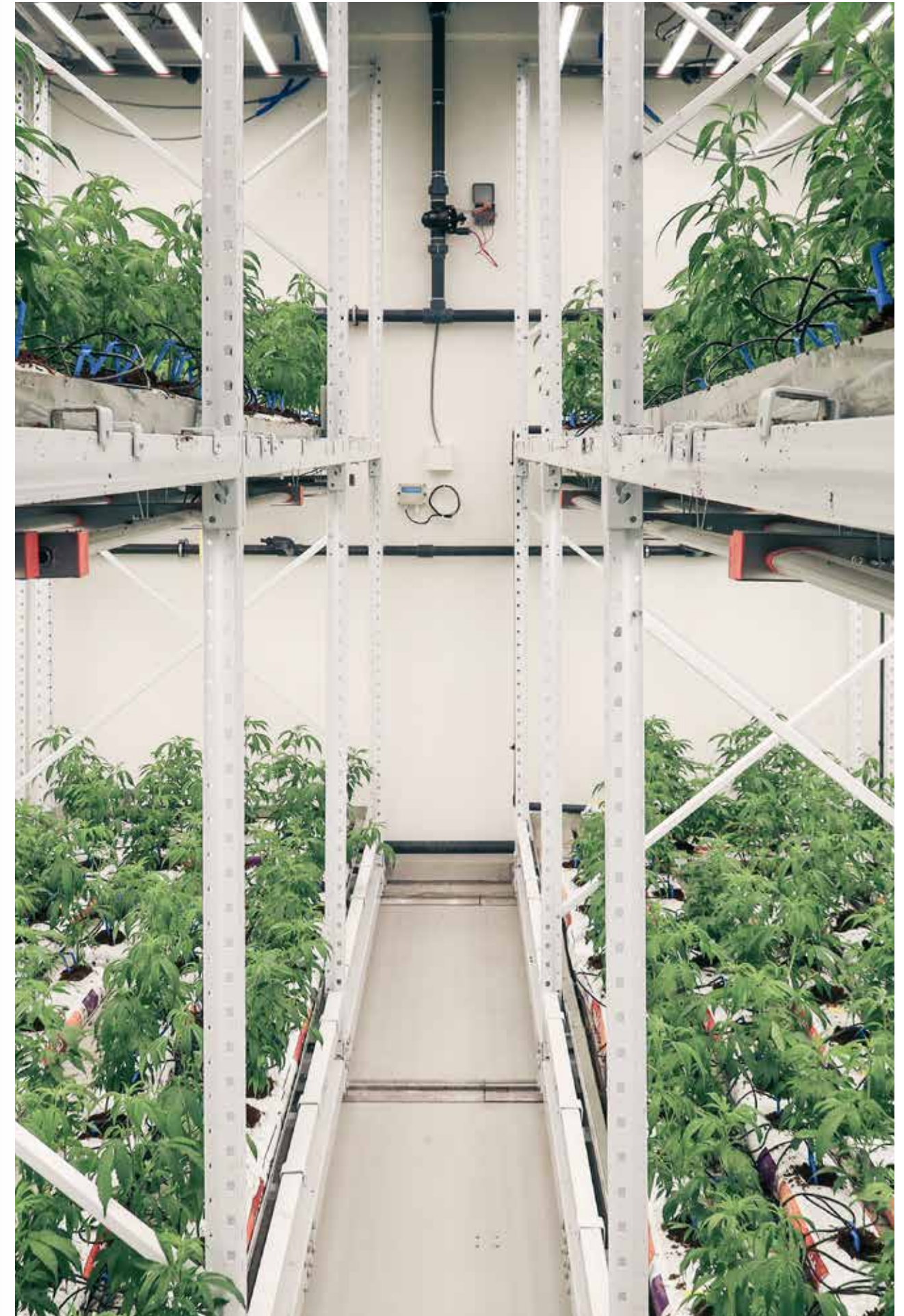
スイス：栽培と製造

アストラサナファーマAGは、スイス・チューリッヒ州ターゲルスヴァンゲンに約700平方メートルにわたる屋内栽培施設を有し、自社製の大麻医薬品の製造に取り組んでいます。

自社で栽培した大麻花穂と輸入された花穂は、スイス医薬品局認定のEU GMP基準基準で処理、精製、包装されて出荷されます。

屋内栽培された医療グレードの花穂は、同施設内の生産および抽出プロセスを経て、グローバルな製薬会社やスイスおよびチェコの薬局向けに高濃度の医薬用大麻として出荷されます。

アストラサナ・グループは、近い将来、輸入製品を完全に自社生産に切り替えることで利益率を最適化することを視野に入れて取り組んでいます。



EUROPEAN DISTRIBUTION AND DEVELOPMENT HUB IN THE CZECH REPUBLIC

チェコ共和国：欧州市場のディストリビューションと開発

アストラサナ・チェコ株式会社によるヨーロッパ市場への参入

アストラサナ・チェコ株式会社は、アストラサナ・グループのグループのディストリビューション拠点です。

アストラサナ・グループのTHCフリー製品は、プラハ市内の空港にも近い自社倉庫を通じて、欧州18カ国にVAT（付加価値税）及び関税のかからない形で輸出されるほか、タイムリーな配送が可能であるため、多くの顧客のニーズに合ったサービスが提供可能となっています。

トマス・リスカ博士（アストラサナ・チェコ株式会社代表取締役）は、政府の麻薬規制に関する有識者メンバーの一人であり、同国の法規制や市場について専門的な視点から様々な提言や助言を行っています。2024年のチェコ共和国での大麻合法化に関する政治キャンペーンリーダーでもあり、反薬物コーディネーターであるヤンリフ・ヴォボリル氏と共に法案の起草を担当しています。



Dr Tomas Ryska
Managing Director Astrasana Czech s.r.o.

アストラサナ・ファーマ株式会社を通じた医薬品開発の専門知識

アストラサナ・グループの傘下でチェコ共和国における第二の企業アストラサナ・ファーマ株式会社は、2024年に活性医薬成分の製造のためのGMPライセンスを取得しました。これにより、アストラサナ・グループ全体の医薬品開発を独立して推進することが可能となりました。

アストラサナは、長年にわたり病院薬局を運営してきた伝統ある製薬小売業者ピルルカ株式会社との独占的な合併事業を確立し、チェコ第二の都市ブルノの本社から全国の薬局に大麻製剤を提供しています。

アストラサナ・ファーマ株式会社は、ピルルカ薬局の共同創業者であるミロスラフ・スミダによって管理運営されています。



Miroslav Smida
Managing Director Astrasana Pharma s.r.o.

ACCESS TO THE HIGHLY PROFITABLE CBD MARKET IN JAPAN

日本:アジア最大のCBD市場への輸出入と新たなニーズ形成

アストラサナ・ジャパン株式会社

アストラサナ・ジャパン株式会社は、2018年に日本のCBD市場に参入した吉田智賀子代表取締役の経験とネットワークを活かしたビジネスを展開しています。

日本特有の法規制やビジネス文化により、多くの海外企業が日本のCBD市場進出を断念もしくは苦戦する中で、アストラサナ・ジャパン株式会社は、2023年3月の法人設立後1年足らずで、CBD関連原料の総輸入実績は約600キロ、販売実績は約340キロを達成しました。

アストラサナ・ホールディング株式会社イブ・アントニアッツィ代表との長年のビジネス関係と共同創設者という信頼関係に基づき、アストラサナ・ジャパン株式会社は日本市場という魅力的でニッチな市場参入を成功させることが出来ました。

高齢者社会となる日本は、自然由来の健康食品需要が欧州と比べても高く、CBD製品に対する関心も徐々に高まっています。

2024年には大麻取締法改正が施行され、医療用大麻分野においても法整備が整うことが見込まれています。アストラサナ・グループは、欧州での医療用大麻ビジネスの経験を活かした展開の可能性を日本でも追求しています。



Chikako Yoshida
Managing Director
of Astrasana Japan



FIRST MOVER ADVANTAGE IN ANIMAL HEALTH CARE

動物医療分野における先駆者の優位性

アストラサナ・アニマルヘルス株式会社

2019年、チェコ経済大学教授でアストラサナ・チェコ株式会社代表のトーマス・リスカ博士によって設立されたReleaf株式会社のCBDブランド「Releaf For Pets」は、生物学的および医療的な知識を組み合わせたバイオメディシンの分野において、カンナビスの応用研究を先駆けて行いました。リスカ博士らが開発した5% CBDオイルは、広範な承認過程を経て、2020年にチェコ政府から獣医用製剤（Veterinary Preparation）として正式にライセンスを取得しました。

2022年、Releaf株式会社はオーストリアのカンナビス企業HANFAMA社と国際的なパートナーシップを締結し、ドイツとオーストリアでCalitamexおよびTamacanという2つの製品を登録し、成功裏に流通させました。

2023年には、アストラサナ・チェコ株式会社がReleaf株式会社の過半数の株式を取得し、アストラサナ・ホールディング株式会社のグローバルネットワークに統合。

そして2024年、獣医師であるサンドラ・ブルックナー代表の下、アストラサナ・アニマルヘルス株式会社が設立され、Releaf株式会社の獣医用製剤ライセンスを活用した、新たなペット向けブランド『AstraVET』と『Cansuna』が誕生しました。これら製品は、欧州と日本で展開していく予定です。（*日本国内では同国の法規制に準じた製造及び販売となります）。



GROWTH IMPETUS THANKS TO STRATEGIC ACQUISITIONS

戦略的事業計画と加速成長の原動力

アストラサナ・グループは、積極的な合併事業を展開しています。

2023年12月、チェコの犬向けの高品質なCBD製品を提供する企業Releaf for Petsの大株主となりました。

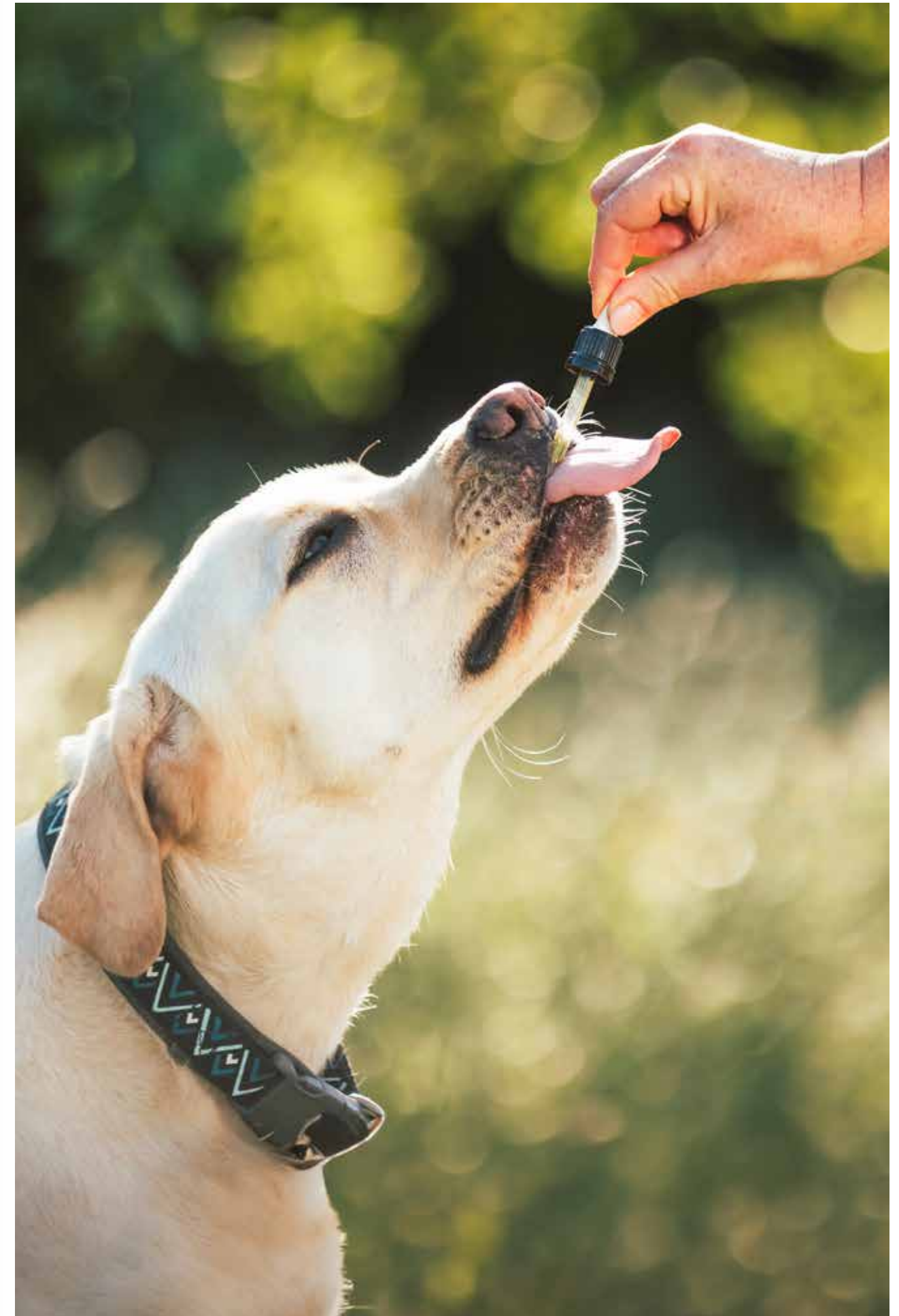
また、同社製品は、ペットの健康を自然由来の大麻成分で改善することを目標にしています。同製品は、欧州の動物病院やペット用品チェーンFressnapfなどで入手可能であり、ドイツ、オーストリア、スイスのエンドユーザーが使用しています。

2022年12月、ベルギーのたばこおよび大麻花穂卸売業者DLH/Nexgenへの投資により、アストラサナ・グループは自社製の屋内栽培CBDフラワーの売上を担保することができました。また、少数株主として、LH/Nexgenが有するベルギー市場の販売ネットワーク約4,000販売店

(Pressbook、Livra、Conway) へのアクセスが可能となりました。

アストラサナ・グループは、エンドユーザー向けの配送に特化した企業に焦点を当て、買収先候補に値するパートナー企業の評価を行い、グループの拡大を視野に入れた戦略を打ち出しています。

これは、アストラサナ・グループとして、中長期にわたる安定したサプライチェーンと価格帯を確保し、エンドユーザーに安定供給を行っていくことを可能とするものです。



KEEPING ABREAST OF RESEARCH DEVELOPMENTS

リサーチ研究の最前線

ラディスラフ・ティル教授は、2023年以降、アストラサナ・ホールディングのアドバイザーとして、大学との共同研究をサポートしています。

ティル教授は、グローバルのビジネススクールネットワークCEMSのアカデミーディレクターであり、プラハ経済大学の副学部長を務めているほか、スイスのセントガレン大学（HSG）の講師として、2024年9月にはスイスで医療用大麻に関する研究プロジェクトを監修する予定です。

大麻の産業化を確立するため、アストラサナ・グループは、第一フェーズとしてチェコ経済大学との共同研究「医療用大麻の経済的な持続可能性と潜在性」を実施しました。トーマス・リスカ教授監修の元、特に、患者、医師、および薬局の行動が分析され、処方箋の障害、注文行動、または潜在的な治癒効果などが調査されました。

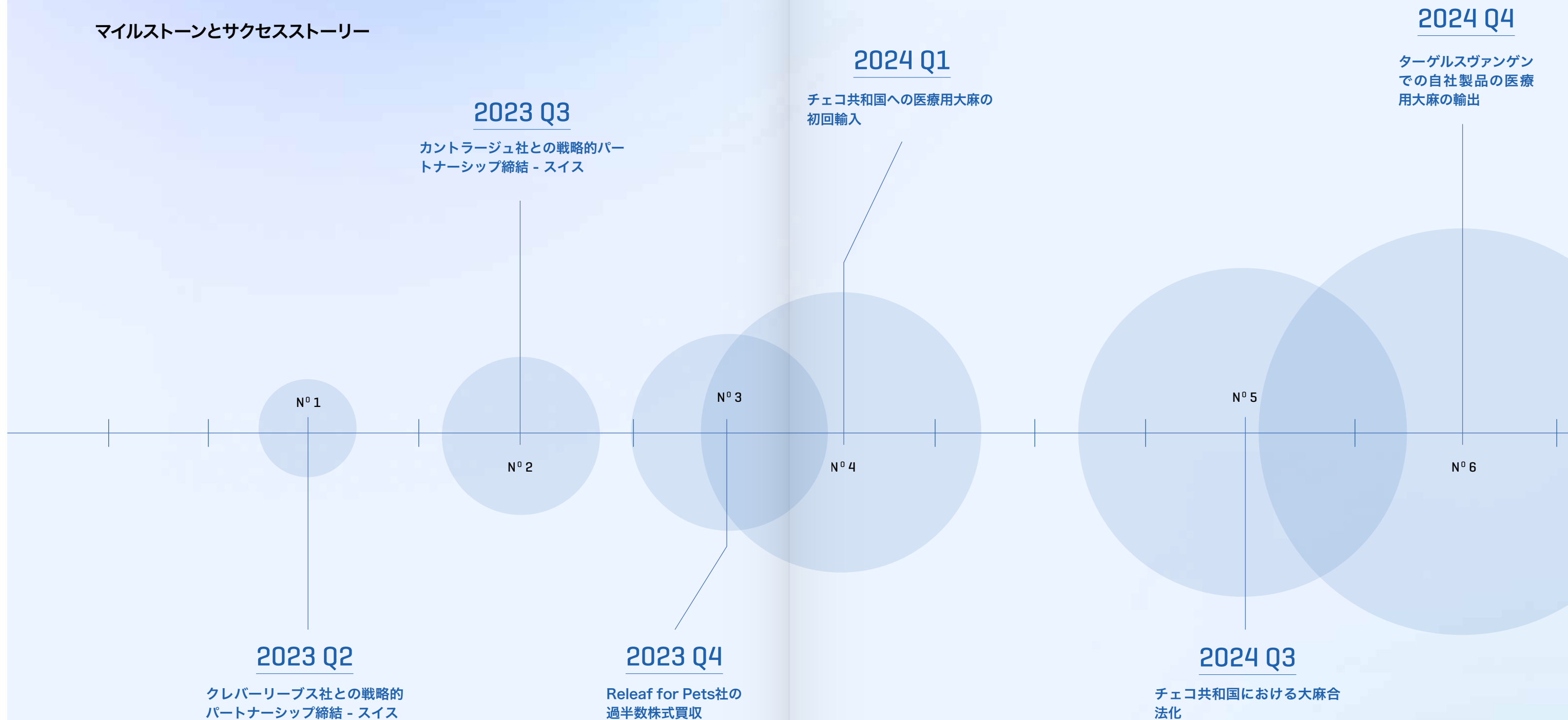
2024年秋には、スイスHSGとさらなる研究プロジェクトが立ち上げられ、医療用大麻の収益性と産業化により焦点を当てたリサーチ研究の実施を計画しています。



Ladislav Tyll
Advisory Board Member,
Astrasana Holding

MILESTONES OF A CONTINUING SUCCESS STORY

マイルストーンとサクセスストーリー



Green light for future growth

将来の成長に向けて



THE CANNABIS MARKET WILL CONTINUE TO GROW

大麻市場の成長と見通し

€52 billi.

2027年までに、合法大麻のグローバル市場規模は520億ユーロを超える見込みです（出典：BDSA）

72%

THCを含む大部分の大麻製品の処方に
関する診断の72%は、痛みや痙攣に関連
しています（出典：Zukunftsinstitut）

22%

今後3年間で、大麻添加食品の年間成
長率は約22%の予測されています（出
典：Technavio）

年	医療用大麻の市場規模(ユーロ)	EUにおける合法CBD市場(ユーロ)
2023	516,512,672	2,251,423,082
2024	約746,372,127	2,503,032,839
2025	約1,123,261,263	2,636,226,000
2026	約1,553,620,570	2,803,478,404



BUSINESS FIGURES ASTRASANA

アストラサナの実績

アストラサナグループ拡大へ

2022年10月に創設されたアストラサナ・ホールディング株式会社、2023年以降、チェコ共和国、日本、英国の各国に法人を設立し、2023年には7つの関連会社有するグループ企業に成長しました。

2023年、スイス国内には、GACP（薬用植物の優良農業規範）規格のインドア栽培施設が完成し、医療用大麻としてCBDとTHCフラワーを自社栽培することも可能になりました。

2024年には、ペット専門、リサーチ研究専門の関連会社を設立する計画です。



グループ概要

設立：2022年10月

グループ総資本金：13万7千スイスフラン（約2千1百万円）

グループ会社数：8社／3カ国（2024年7月時点）

グループ従業員数：30人（2023年12月時点）

アストラサナ・グループ沿革

2022年10月	アストラサナ・ホールディングAG設立（スイス） アストラサナ・ファーマAG設立（スイス） アストラサナ・チェコS.R.O設立（チェコ共和国）
2022年12月	DLH/Nexgen株式会社の少数株主（ベルギー）
2023年02月	アストラサナ・ファーマS.R.O設立（チェコ共和国）
2023年03月	アストラサナ・ジャパン株式会社設立（日本）
2023年05月	アストラサナUKリミテッド設立（イギリス）
2023年12月	Releaf for Pets社の過半数株式買収（チェコ共和国）

FUTURE-PROOF INVESTMENTS

将来の展望

欧州市場における投資

欧州市場は、現在進行中の合法化の波を受けて、大企業にとっても利益を得るための大きなチャンスとなっています。

また、北米の例をみれば、特に、新たなサプライチェーンを開拓することで、アメリカやカナダの企業は初期段階で売り上げ拡大を実現しました。

グローバル展開するアストラサナ・グループが、スイス、チェコ共和国（英国を含む欧州）、および日本に焦点を当てているのは、これらの国で大麻の合法化が見込まれている、もしくは、法改正が実施されるからです。戦略的なビジネス展開に基づき、潜在的な投資家が市場に参入しやすい環境も整えています。

日本市場の大きな潜在力

2023年12月、大麻取締法及び麻薬及び向精神薬取締法の一部を改正する法律が成立しました。

この法改正により、THC基準が明確化されるほか、医薬品の施用規制の見直しによる医療ニーズへの対応等が可能となるなど、2024年以降、CBD製品の需要が更に増大し、市場が急成長することが見込まれています。

アストラサナ・ジャパン株式会社は、この歴史的な転換期は、CBD製品を必要としている多くの人々に安価に届けることが可能となるチャンスととらえています。

私たちは、グループ会社から直接原料を仕入れることで、日本市場で競争力のある価格を提供しながら、世界市場の動向を分析考察し、日本市場に適応可能な新規事業と新たなニーズの創出を目指しています。

欧州企業の売上及び投資額（例） 2022 - 23年

企業名	売上 2022/23	設立年	外部資金調達	投資家
 BLOOMWELL	5百万ユーロ	2020	2千万ユーロ	キュラリーフ ベンチャー企業 8社
 emmac	8百万ユーロ	2018	2億8千万ユーロ	キュラリーフ ベンチャー企業 8社
 DEMECAN	4百万ユーロ	2017	1.5千万ユーロ	ベンチャー企業
 Sanity Group	4千万ユーロ	2018	7千万ユーロ	BAT(ブリティッシュ・アメリカン・タバコ) ベンチャー企業他
 cansativa®	1.1千万ユーロ	2017	1.3千万ユーロ	ベンチャー企業 ファミリーオフィス
 FOUR 20 PHARMA	1.5千万ユーロ	2018	非公開	キュラリーフ ベンチャー企業 8社
 ipure	1.1千万ユーロ	2017	3千万ユーロ	ビスカヤ州 ベンチャー企業 個人投資家
 AstraSana	8百万ユーロ	2022	3百万ユーロ	個人投資家

日本市場予測

2022	約161億円
2023	約240億円
2024	約372億円(予測)
2025	約532億円(予測)
2026	約718億円(予測)
2027	約923億円(予測)
2028	約1,129億円(予測)

参考：EUROMONITOR International 「日本のCBD市場」



アストラサナ・ジャパン株式会社

〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷1-14-14

スタンフォードアネックスビル3階

050-3562-5911

japan@astrasana.com

<https://astrasana.jp/>

